

芥見東







みどりっこバス 通信

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 広報誌第24号平成29年4月1日発行発行元:広報部(芥見東公民館内) 電話 FAX 241-1062

-地域づくりの輪の中にあるコミュニティバスに感動-

愛知県江南市役所 市民サービス課 浅野 耕太郎さん

今回、岐阜運輸支局が開催する「地域公共交通上級研修」として、地域住民の皆さんが主体的に活動を続けている「みどりっこバス」に関するフイールドワーク型の研修が開催されるということで、お隣の愛知県から参加しました。

お話を伺い、実際に乗車して、地域の皆さんの手による「地域づくり」の輪の中に「みどりっこバス」が息づいていることが非常によく分かり、このバスが交通の手段を超越して地域交流の場の一つとなっていることに感動しました。

「バスが無くて困っているから自分達で何とかしよう!」という地域の皆さんの主体性と行動力、皆さんで運行を決めていく実行力がコミュニティバスを含んだ地域づくりを成功させる秘訣であると非常に強く感じましたので、わがまちでも参考とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。



研修会の様子

-地域全体で盛り上げる公共交通-

可児市役所建設部都市計画課公共交通係 主事 新井 雅和さん

今回の研修を通して、芥見東まちづくり協議会での「みどりっこバス」への熱意ある取組みを見聞でき、とても参考になりました。 とりわけ、ヘルパー制度については、フイールドワークで乗車体験をした際に、ヘルパーさんのおかげで安心感が得られ、利用者に対して乗りやすい環境を提供できていると感じ、非常に感銘を受けました。

また、芥見東地域の住民の皆さんは公共交通の現状に対して危機意識が高く、地域全体で盛り上げていこうという意思が強く感じられ、公共交通とは行政、地域住民、事業者が協働してつくり上げていくものであると改めて実感できました。

可児市でも芥見東地域の取り組みを参考に行政、事業者、地域住民で盛り上げていけるような公共交通をめざし

てまいります。

最後に、芥見東まちづくり協議会の多田会長をはじめスタッフ、ヘルパーの皆様におかれましては、お忙しい中、 取組み事例や現状の課題等を交えながら丁寧に教えていただきまして、ありがとうございました。



一地域にデビューしてみませんかー

みどりっこバスヘルパー会 会長 五十川 勝也

皆さんご存知の地域の足を確保して親しまれているみどりっこバス。このバスには、毎日みどりっこヘルパーさんが乗車して、車掌役として高齢者の案内や荷物の上げ下ろしのお手伝い等をしています。発足からまもなく7年目になります。

夏休みの期間には、藍川東の中学生も中学生へルパーとして加わり、乗客の皆さんに元気な声をかけ親しまれています。 ヘルパーさんは無料のボランティアで手当ても何も出ませんが、現在40人程度でヘルパー会を構成し楽しくやっています。月1回程の乗車で朝2~6便(いちばん混みあう午前中を中心)自分の都合のよい曜日・日にちを選んで乗って頂くだけです。

自分の健康維持の為、また視野を広め初めての人と交

流を深め、自然の景色を愛でながら有意義な生活を送ってみませんか。ボランティア同志の交流も年1回あり、この時はアルコールも入り和気あいあいの会になる楽しみもあります。



定年退職予定の人、今、暇を持て余して何をしようかと迷っておられる方、一度飛び込んでみてはいかがですか。 ボランティアはじめの一歩です。

お元気に みどりっこバスの末永いご利用を

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会 会長 山田 正行

いつもみどりっこバスを見守り、あるいはご乗車いただきましてありがとうございます。今年度(平成29年度)より芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会の会長に就任しました山田正行です。

この地区の少子高齢化はどんどん進んでいますが元気なお年寄りの皆さんがお住いの地区で、 お元気にみどりっこバスに乗って、バスの中で井戸端会議をしながら元気にスーパーマーケット や病院にとご利用いただきましてありがとうございます。

「このバスがあるんで助かるんや」とのお声を励みに運営協議会・みどりっこバスヘルパーのみなさんが知恵や汗を出しながら支えてきました。乗客のみなさんが快適に目的地に着けるよう今後も支えていきます、末永いご利用をお願いいたします。

みどりっこバスで何かお気づきの点があれば、みどりっこバスのヘルパーさんにお伝えください、ヘルパーさんを通じて運営協議会に伝わります。運営協議会で検討しながら今後ますます皆さんに親しまれるみどりっこバスにしていきます。ご利用の程よろしくお願いいたします。

